

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：平成 28 年 7 月 26 日 報告者：刑部 恵介

行事種別	講演会	行事番号	1600065755
開催日	平 成 28 年 7 月 23 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	名古屋市立大学 医学研究科 医学部研究棟 11 階講義室 A (所在地 名古屋市)		
テーマ	検査技師が知っておきたい呼吸機能検査とその疾患		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	藤田保健衛生大学 刑部恵介／(一社)半田市医師会健康管理センター 山口温子		
講 師	1.呼吸機能検査における精度管理 ～平成 27 年愛臨技精度管理調査のアンケート結果報告～ 東海記念病院 宮田真希 2.VC・FVC 測定での注意点 (一社)半田市医師会健康管理センター 山口温子 3.主要な呼吸器疾患の知識 刈谷豊田総合病院 呼吸器・アレルギー内科 管理部長 吉田憲生		
内 容	講演 1 では宮田技師より平成 27 年愛臨技精度管理調査のアンケート結果について講演して頂いた。県内のサーベイ参加施設における検査項目や精度管理に関する現状が報告され、各施設の抱える共通の問題点が明らかにされた。 講演 2 では山口技師よりアンケート結果の中で参加施設が最も行っている VC および FVC の測定における注意点について講演して頂いた。両測定ともに患者様の協力なしではできない検査であるため、検査施行者自身が検査項目の臨床的意義、原理などを熟知し行う必要があり、さらに患者様と良好なコミュニケーションをとり信頼関係を築きながら検査を行う必要があることが説明された。 講演 3 では呼吸器内科医の吉田医師より“主要な呼吸器疾患の知識”として間質性肺炎(肺線維症)、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息を中心に各疾患の疫学、病態、検査および治療法について講演して頂いた。講演の中の検査については呼吸機能検査のみではなく胸部 X 線、CT など他の画像検査についても説明がなされ、参加者にとって大変勉強になる内容であった。		
参加者	総数：145 名(会員 145 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名)		
共催、後援など	なし		

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：平成 28 年 9 月 22 日 報告者：永田 篤志

行事種別	研究会		行事番号	160013775	
開催日	平成 28 年 9 月 17 日（土）				
時 間	開 始	15 時 00 分		終 了	17 時 00 分
場 所	名古屋市立病院 医学研究科 医学部研究棟 11 階講義室 A（所在地 名古屋市）				
テーマ	腹部エコーからはじまる消化器診療				
生涯教育履修点数	専門教科 20 点				
司 会	名古屋掖済会病院 中央検査部 佐々木 玲子 技師				
講 師	名古屋掖済会病院 消化器科部長 大橋 暁 先生				
内 容	今回の研究会は「腹部エコーからはじまる消化器診療」というテーマで名古屋掖済会病院消化器科部長 大橋 暁先生にご講演いただいた。 日常診療の中で遭遇した症例を提示していただき、腹部エコーと他のモダリティとの所見を比較しながら診断のプロセスや治療方針の決定を解説していただいた。肝細胞癌における RFA や TACE の適応の解説と実際の治療の映像や CT、MRI の見方の説明があり、大変分かりやすく勉強になる内容であった。 診断プロセスの中で腹部エコーに期待することは、質的診断は他のモダリティに任せ、存在診断をしてもらえば良いとのことであった。検査とは疾患の存在する確率を高めていく作業であり、存在診断はむしろ読み過ぎるくらいが良く、質的診断も重要であるが、疾患の拾い上げは極めて重要であり、偽陽性が増えたとしても疾患の拾い上げ率が上がるならば、臨床的にはより有用と言えるとのことであった。こうした臨床医の考え方を知ることが出来、たいへん有意義な内容であった。				
参加者	総数：143 名（会員 141 名、非会員 2 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）				
共催、後援など	なし				

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：平成 28 年 10 月 20 日 報告者：柴田 康孝

行事種別	研究会		行事番号	160016497	
開催日	平成 28 年 10 月 15 日（土）				
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了	18 時 20 分	
場 所	名古屋市立病院 医学研究科医学部研究棟 11 階講義室 A（所在地 名古屋市）				
テーマ	臨床に応えられる心電技師になろう！				
生涯教育履修点数	専門教科 20 点				
司 会	JA 愛知厚生連江南厚生病院 柴田 康孝 技師				
講 師	ペースメーカーと心電図 セントジュードメディカル 田島 佳典 事情聴取！頻りと脈拍つ心電図を追究せよ。 名古屋セントラル病院 伊藤 太 技師 心電図から読み解くカテーテルアブレーションの基礎 藤田保健衛生大学 病院循環器内科講師 原田 将英 先生				
内 容	今回、愛知県臨床検査技師会としては初めて「日臨技認定心電検査技師更新指定研修会」として開催した。認定更新研修会が少ないことから、予めから希望の多い企画であった。混乱を避けるために定員制限を設けたが、県外からの参加も含め盛況であったのは喜ばしいことである。「臨床に応えられる心電技師になろう！」をテーマに 3 題の講演を行った。わかりやすいペースメーカーの基礎、電気生理学を含めた希少な症例の判読、カテーテルアブレーションの詳細と最新技術など、初心者のみならず専門性の高い業務に携わる技師まで興味をもって取り組める内容であった。参加者からは、すでに次年度も引き続き開催してほしいとの声が挙がっており、開催準備をしていく予定である。愛知県会員においては認定心電検査技師の周知および取得への興味をもつ良い機会であったと思われる。今後も魅力かつ有意義な企画を提供していきたい。				
参加者	総数：118 名（会員 118 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）				
共催、後援など	なし				

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：平成 28 年 11 月 21 日 報告者：鈴木 更織

行事種別	研究会	行事番号	160019478
開催日	平成 28 年 11 月 19 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟 11 階講義室 A (所在地 名古屋市)		
テーマ	脳神経検査に関わる画像診断		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	西尾市民病院 鈴木 更織 技師		
講 師	1. 中枢神経の画像診断について ～頭部画像診断を中心として～ 社会医療法人大雄会 総合大雄会病院 日比野 友也技師 2. 神経放射線画像の読み方 名古屋市立東部医療センター 第一放射線科 武藤 昌裕先生		
内 容	『脳神経検査に関わる画像診断』というテーマで、前半は放射線技師の日比野友也技師より中枢神経の画像診断について一頭部画像診断を中心として一と題して CT 検査や MRI 検査の基本的な原理について詳しく教えて頂いた。更に形態診断について特に脳卒中、血管疾患を中心に、機能診断として Functional MRI、ドーパミントランスポータシンチ、VSRAD など御提示頂き、大変興味深い内容であった。 後半は武藤昌裕先生より神経放射線画像の読み方と題して超急性期梗塞の疑いのある患者の MRI、脳血管造影、t-PA による血栓溶解療法施行した人の経過観察の画像を提示され、二次変性についても細かく教えて頂いた。その他、症例から学ぶ読影法という事で痙攣後脳症や左海馬硬化症、脳動脈奇形や Creutzfeldt-Jakob 病など沢山の症例画像の説明と最新情報を教えて頂き、知識の習得ができた。 検査技師はこうした放射線や磁気を用いた検査の原理や判読を系統的に学ぶ機会が少なく貴重な機会であった。		
参加者	総数：104 名 (県外 1 名、非会員 2 名)		
共催、後援など			

2016.11.19

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：平成 28 年 12 月 14 日 報告者：淀川 千尋

行事種別	基礎講座	行事番号	160019513
開催日	平成 28 年 12 月 4 日 (日)		
時 間	開 始	9 時 30 分	終 了 16 時 45 分
場 所	名古屋第二赤十字病院 加藤化学研修ホール (所在地 名古屋市)		
テーマ	心臓超音波検査の基礎 (講義+実技)		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	JA 愛知厚生連江南厚生病院 柴田 康孝技師 大同病院 野呂 美幸技師 藤田保健衛生大学 刑部 恵介技師 西尾市民病院 鈴木 更織技師		
講 師	【全体講演】 1. 「断層法に必要な知識」 名古屋第二赤十字病院 石神 弘子技師 2. 「心エコーの描出方法」 公立陶生病院 大竹 悦子技師 3. 「ドブラ法で知っておきたいポイント」 JA 愛知厚生連安城更生病院 犬塚 斉技師 【A：初心者コース】 1. 「心エコーでみつけた心臓内構造物」 津島市民病院 山梶 恵美技師 2. 「asynergy クイズ」 半田市立半田病院 村雲 望技師 【B：初級者コース】 1. 「あなたならどのように検査しますか？①心雑音」 豊橋市民病院 手嶋 充善技師 2. 「あなたならどのように検査しますか？②胸痛」 藤田保健衛生大学病院神野真司技師		
内 容	「心臓超音波検査の基礎」というテーマで基礎講座を開催しました。 前半は全体講演として心エコーの計測のポイント、ハンズオン形式でプローブの持ち方や心臓の描出方法を学びました。B モード、ドブラの使い方、計測のコツと決まり事などを実際の症例を呈示していただき、詳しく解説していただきました。午後の実習に向け、ハンズオン形式で参加者の中から実際にエコーを当ててみる方を募り、初心者の起こしやすい持ち方のくせと矯正の工夫を学びました。正しい断面の出し方とその断面の活用を学ぶことが出来ました。後半は初心者コース (経験年数 1 年未満) と初級者コース (経験年数 3 年未満) に別れて、各々、実技と講習を行いました。 講習では初級者は症状や心音図、心電図との関連や症例画像をみて学ぶことができました		

	た。実際の検査では依頼目的に応じた検査を行う必要があり実践的な内容でした。初心者の講義では、一度見ないと理解しにくい異常構造物と異常と間違えやすい正常構造物の成り立ちと画像を多くの症例で供覧していただき、壁運動評価はクイズ形式で壁運動の異常程度評価、責任冠動脈の推定を行い、色画用紙を使い各自で回答しました。冠動脈の走行と壁運動の関連を理解しやすく解説いただきました。 実技では各メーカーさんに協力して頂き、実際の装置を使用して、心臓の描出や計測を行いました。初心者では基本的断面の描出を中心に、初級者では各自の希望する精密計測の項目を中心にそれぞれが実際にプローブを持ち実習を行いました。実技講師の先生方には参加者のレベルに合わせて臨機応変に対応して頂きました。 この基礎講座が参加者の心エコー習得の手助けになったと思います。
参加者	総数：87名
共催、後援など	

2016.12.14

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：平成 29 年 1 月 17 日 報告者：西谷 由美子

行事種別	研究会	行事番号	160027332
開催日	平成 29 年 1 月 14 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	名古屋第二赤十字病院 研修ホール (所在地 名古屋市)		
テーマ	乳がん診療に関わる臨床検査 超音波検査と病理検査の役割を知るために		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	総合大雄会病院 西谷 由美子技師 半田市立半田病院 村雲 望技師 名城病院 橋村 正人技師		
講 師	1.病理レポートの理解を深める ～サブタイプ分類HER2検査を理解するために～ 愛知県がんセンター中央病院 柴田 典子技師 2.乳腺超音波画像の読み方、捉え方 JCHO 中京病院 加藤 鮎美技師 3.実際の症例で考えてみよう！ 超音波検査 名古屋第二赤十字病院 石神 弘子技師 病理検査 名古屋第二赤十字病院 長田 裕之技師		
内 容	乳がん診療に関わる臨床検査というテーマで生理検査・病理検査研究班合同の研究会を行った。講演 1 では乳がんの治療である薬物療法について遺伝子の分野を中心に講演いただいた。現在サブタイプ分類によりもっとも効果的な薬物療法が選択され治療が行われているが、サブタイプ分類の要素であるホルモン受容体、HER2、Ki67 値などをわかりやすく教えて頂いた。講演 2 では乳腺超音波画像の見方、レポート表記について、数多くの症例を交えながら解説して頂いた。講演 3 では実際の 2 症例を術前の超音波診断から術後の病理組織診断に至るまで解説していただいた。超音波検査と病理検査、お互いの所見をフィードバックし合いながら学び、病態に対する認識をより深める機会となり大変有意義な研究会であった。		
参加者	総数：97 名（会員 94 名、非会員 2 名、賛助会員 1 名、学生 名、その他 名）		
共催、後援など			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：平成 29 年 2 月 20 日 報告者：手嶋 充善

行事種別	研究会	行事番号	160029671
開催日	平 成 29 年 2 月 18 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	名古屋市立大学病院 医学研究科医学部研究棟 11 階講義室 A (所在地 名古屋市)		
テーマ	H28 年度愛臨技精度管理調査報告会 生理部門		
生涯教育履修点数	基礎 20 点		
司 会	JA 愛知厚生連江南厚生病院 柴田 康孝 技師		
講 師	1. 愛臨技精度管理報告 総括 手嶋 充善 (豊橋市民病院) 2. 心電図検査 鋤柄 冴美 (厚生連渥美病院) 3. 脳神経検査 榊原 久美子 (名古屋大学医学部付属病院) 4. 呼吸機能検査 樋口 昌哉 (厚生連海南病院) 5. 心臓・血管超音波検査 山梶 恵美 (津島市民病院) 6. 腹部・表在超音波検査 加藤 鮎美 (JCHO中京病院)		
内 容	平成 28 年度愛臨技サーベイの解説を行った。総括として、各設問の正解率、アンケートの回答状況などを呈示した後、分野ごとに 5 名の技師が設問の回答だけでなく、設問ごとに詳しい説明を加えて解説した。選択肢についてもそれぞれ解説が行われ、参加者には正解・不正解を知るだけでなく、設問に関し様々な点について学ぶ機会になったと思われる。昨年度に引き続き概ね良好な正解率であり、不適切設問となるものはなかった。アンケート調査において、心臓・血管超音波分野で内部精度管理についての調査を行った。検体部門と異なり、生理検査分野の内部精度管理は進んでいない現状があるが、2 割の施設で何らかの形で実施しており、4 割の施設で今後は必要であるとの意見を得られた。具体的な内部精度管理の方法を提示することで、未実施の参加施設にとって大いに参考になったと思われる。また、動画媒体での設問においては、昨年度同様に CD-R での配布を多く希望される結果となった。しかし、web での希望も年次的に増えており、来年度は日臨技同様に web での公開も考えていきたい。 今後も内部精度管理も含め、日常業務とつながるような精度管理調査を行い会員に還元していきたい。		
参加者	総数：66 名 (会員 66 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名)		
共催、後援など	なし		